



2. 緑の取組

2.1. 東京グリーンビズ「東京都の緑の取組 Ver.3」

東京の緑を「まもる」「育てる」「活かす」取組をさらに加速させるため、農地等を守る取組や都民の参画につながる取組等を充実させた「東京都の緑の取組 Ver.3」を取りまとめ、令和7年（2025年）1月に公表しました。

東京都の緑の取組 Ver.3

みどりと生きるまちづくり
Tokyo GREEN BIZ

自然と人々が共存して安らげる東京
生物多様性を考慮した緑地
壁面の緑化 緑豊かな国際都市
屋敷林を守る ネイチャーポティブ
緑の量/白けでなく質を重視
緑が多く空気がきれい
自然と調和した持続可能な都市
屋根緑化 体験農園
自然環境と都市機能の高度な調和 公園がたくさん
グリーンインフラの整備 緑が多くリラックスできる東京

東京の緑を「まもる」「育てる」「活かす」取組

100年先を見据え、取組の輪を拡大し、東京の緑を未来へ継承

「まもる」取組

- 農地を守る
- 樹林地（屋敷林等）を守る
- 豊かな自然（保全地域等）を守る
- 森林（水道水源林等）を守る

「活かす」取組

- 自然が有する機能を活用する「グリーンインフラ」の導入
- 公園の魅力を高めてTOKYOの顔に
- 豊かな自然を活用・発信
- 水辺に親しむ空間づくり
- 多摩産材の活用
- 緑の多様な価値を活かす

「育てる」取組

- 公園の整備
- 街路樹の充実（安全性や快適性の確保）
- 緑と水のネットワーク化
- まちのシンボルとなる緑豊かな空間の創出
- まちづくりに合わせた、まちなかの緑の創出
- 東京グリーンビズ・ムーブメントの推進

「東京都の緑の取組 Ver.3」

2.2. 区市町村における緑施策の重要性

街区公園や特別緑地保全地区など、都民に身近な地域の緑の保全・創出は、区市町村が主体となって行われています。都内の各種公園緑地の合計約9,000haのうち、約4,000haは区市町村立公園です。

区市町村は、東京の緑に関してとても大きな役割を担っており、人々の生活にゆとりと潤いを与える緑の価値を一層高め、都民とともに未来に継承していくためには、区市町村による緑施策が大変重要です。

今後、東京都は、広域的な視点での緑施策を推進すると共に、区市町村が取り組む地域の緑施策を、緑あふれる東京基金等を活用し、より一層、支援していきます。